

小倉山通信

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校

平成30年8月29日(水) No.21

田沢湖駅伝、応援ありがとうございました 男子Aチーム準優勝・女子Aチーム第4位 男子Bチーム第4位、女子Bチーム第13位



男子A・Bチームから7名が区間賞を受賞



女子Aチームから3名が区間賞を受賞

8月28日(火)、「第48回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会」、「第23回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会」が行われ、角中選手は見事な走りで、上位入賞を果たしました。

昨年もお伝えしましたが、駅伝と陸上は学校対抗の競技です。大曲仙北管内の各中学校では自校の精鋭を選手として、どの学校も全校体制で駅伝の強化に力を入れています。今回も、管内の全ての中学校から男子24チーム、女子25チーム、計49チームが参加しました。

コースは男子が20.6kmの田沢湖一周を7区間で、女子は5区間12.6kmのコースで行われました。

駅伝は各学校の学校力の競い合いでもあり、これは、この大曲仙北地区の長い間の伝統にもなっています。

全校が心を一つにして激励し、学校対抗の競技で得た成果は、角中の学校力の素晴らしさの証明となりました。

角館中学校が昨年度に続き、素晴らしい成績を収めることができたのは、一つには、駅伝部のこれまでの練習の質と量があったからだと思います。角中駅伝部の練習は、大曲仙北の中学校の中で最も内容の濃いものであり、量的にも、他のどこの中学校にも引けを取らないものでした。今年の駅伝練習には80人を超える参加者がいて、走ることに学校全体の意識がさら高まったと感じました。

その基盤にあるのは、日々の5分間走であり、各部活動での基礎体力の強化がありました。駅伝部の練習だけではなく、全校で日常的に走ることが今年の成果となったと言えます。

そして、選手を支えてきた、リザーブの部員やマネージャーの存在がありました。つらい練習を乗り越えられたのは、共に汗を流し、苦しい思いを共有した仲間がいたからであり、選手が競技中に最後の力を振り絞れたのは、そんな部員の応援があったからだと思います。

また、選手にとって何よりも支えになったのは、家族の皆様方の毎日の励ましと応援でした。子どもたちにとっては、苦しいことやつらいこともあり、時には投げ出したい思いも浮かんだかもしれませんが、ここまでやってこれたのは、家族の支えがあればこそだったと思います。紙面で失礼とは思いま

すが御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

駅伝部はこの後、9月22日(土)～23日(日)に開催される全県駅伝大会を次の目標にして、準備を進めていきます。この後も応援をよろしく願います。

駅伝部主将から

男子主将 W. さん

今回の大会に向けての練習は夏休み前から始まりました。練習はとても苦しいものでしたが、仲間と乗り越えてきました。目標としてきた優勝はできませんでしたが、次は全県大会があるので、この悔しさを忘れないで、期待に応えられるように頑張りたいです。

応援ありがとうございました。

女子主将 S. さん

今回の大会は、悔しい結果で終わってしまいました。しかし、全員が自分の自己ベストを尽くせたと思います。この悔しさをバネに、次の全県駅伝までの練習をしっかりと頑張っていきたいと思います。

応援ありがとうございました。

教育実習が始まりました

8月29日(水)から、本校の卒業生であるT. 先生が教育実習生として来校しています。実習の期間は9月18日(火)までの3週間で、理科の教科指導を中心に、3年D組で諸活動の実習を行います。

